

令和4年12月21日

発熱等診療・検査医療機関の長 様

兵庫県保健医療部感染症等対策室感染症対策課長

**季節性インフルエンザとの同時流行を想定した新型コロナウイルス感染症  
に対応する外来医療体制の「流行期」への切り替えについて（協力依頼）**

平素より、本県の新型コロナウイルス感染症対策につきまして、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症については、新規患者数が前週比を上回る状況が続き、感染拡大の傾向が続いています。今後もさらに感染拡大が予想されることから年末年始の医療体制の確保に向け、12月28日に外来フェーズを「感染拡大期」から「流行期」に切り替えることを、本日の新型コロナウイルス感染症対策本部会議で決定しました（別添資料をご参照ください）。

発熱等診療・検査医療機関におかれましては、これまでも多大なるご尽力をいただいていることと存じますが、引き続き、下記のとおり依頼させていただきますので、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

記

**1 発熱等診療・検査医療機関への依頼事項**

**(1) 「流行期」の対応**

医療ひっ迫回避のため、ご協力いただける場合は、発熱外来の診療時間の延長や休日開院等の拡充をお願いいたします。

**(2) 抗原定性検査キットの各製造販売業者における在庫状況等について**

抗原検査キットについて、一部の製品への発注が集中し、必要な場所で入手困難となることがないように、厚生労働省ホームページ（下記 URL）もご参照の上、各製品の在庫状況を踏まえて発注くださると幸いです。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000965928.pdf>

**(3) 医療用解熱鎮痛薬等が不足している場合の相談窓口**

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、解熱鎮痛薬等が不足している医療機関等がある場合は、厚生労働省が設置している下記相談窓口にご相談ください。

URL：[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_29794.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29794.html)

**〔参考〕兵庫県ホームページ**

- ・【医療機関向け】新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行を想定した外来フェーズ及び外来医療体制の拡充について

URL：<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/gairaikakujuu.html>

- ・「今冬のインフルエンザ及び新型コロナの同時流行への備え ～県民の皆さまへの協力

のお願い～」

URL : <https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/doujiryuukou.html>

(問合せ先)

感染症対策課新型コロナウイルス感染症対策班

電話番号 : 078-341-7711 (内線 3194、3191)

E-mail : [kansentaisaku@pref.hyogo.lg.jp](mailto:kansentaisaku@pref.hyogo.lg.jp)

事務連絡  
令和4年12月21日

一般社団法人 兵庫県医師会長  
一般社団法人 兵庫県病院協会長  
一般社団法人 兵庫県民間病院協会長

様

兵庫県保健医療部感染症等対策室  
感染症対策課長

季節性インフルエンザとの同時流行を想定した新型コロナウイルス感染症に対応する外来医療体制の「流行期」への切り替えについて（協力依頼）

新型コロナウイルス感染症については、新規患者数が前週比を上回る状況が続き、感染拡大の傾向が続いています。今後もさらに感染拡大が予想されることから年末年始の医療体制の確保に向け、12月28日に外来フェーズを「感染拡大期」から「流行期」に切り替えることを、本日の新型コロナウイルス感染症対策本部会議で決定しました（別添資料をご参照ください）。

また、年末年始には、発熱外来を開設する医療機関が少なくなることも踏まえて、年末年始も含めた流行期における発熱外来のさらなる拡充依頼を、発熱等診療・検査医療機関に対して実施いたします。

つきましては、内容についてご了知いただきますとともに、貴会員への周知や協力への呼びかけ（特に年末年始における開設）について、ご配慮いただきますようお願いいたします。

また、引き続き、管轄保健所等と連携いただきつつ、医療体制の強化にご協力いただきますようお願いいたします。

なお、別添のとおり保健所及び発熱等診療・検査医療機関に通知していることを申し添えます。

・〔参考〕兵庫県ホームページ

「【医療機関向け】新型コロナと季節性インフルエンザの同時流行を想定した外来フェーズ及び外来医療体制の拡充について」

URL：<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/gairaikakuju.html>

「今冬のインフルエンザ及び新型コロナの同時流行への備え ～県民の皆さまへの協力のお願い～」

URL：<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/doujiryuukou.html>

・抗原定性検査キットの各製造販売業者における在庫状況等について

抗原検査キットについて、一部の製品への発注が集中し、必要な場所で入手困難となることがないよう、厚生労働省ホームページ（下記 URL）もご参照

の上、各製品の在庫状況を踏まえて発注くださると幸いです。

URL : <https://www.mhlw.go.jp/content/000965928.pdf>

・ **医療用解熱鎮痛薬等が不足している場合の相談窓口**

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、解熱鎮痛薬等が不足している医療機関等がある場合は、厚生労働省が設置している下記相談窓口にご相談ください。

URL : [https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_29794.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29794.html)

事 務 連 絡  
令和4年12月21日

病院局企画課長様

保健医療部感染症等対策室  
感染症対策課長

季節性インフルエンザとの同時流行を想定した新型コロナウイルス感染症に対応する外来医療体制の「流行期」への切り替えについて（協力依頼）

新型コロナウイルス感染症については、新規患者数が前週比を上回る状況が続き、感染拡大の傾向が続いています。今後もさらに感染拡大が予想されることから年末年始の医療体制の確保に向け、12月28日に外来フェーズを「感染拡大期」から「流行期」に切り替えることを、本日の新型コロナウイルス感染症対策本部会議で決定しました（別添資料をご参照ください）。

つきましては、内容についてご了知いただきますとともに、県立病院への周知についてご配慮いただきますよう、よろしく申し上げます。

なお、別添のとおり県医師会等関係団体、発熱等診療・検査医療機関に通知していることを申し添えます。

・【参考】兵庫県ホームページ

「【医療機関向け】新型コロナと季節性インフルエンザの同時流行を想定した外来フェーズ及び外来医療体制の拡充について」

URL：<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/gairaikakujuu.html>

「今冬のインフルエンザ及び新型コロナの同時流行への備え ～県民の皆さまへの協力のお願い～」

URL：<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/doujiryuukou.html>

・抗原定性検査キットの各製造販売業者における在庫状況等について

抗原検査キットについて、一部の製品への発注が集中し、必要な場所で入手困難となることがないよう、厚生労働省ホームページ（下記 URL）もご参照の上、各製品の在庫状況を踏まえて発注くださると幸いです。

URL：<https://www.mhlw.go.jp/content/000965928.pdf>

・医療用解熱鎮痛薬等が不足している場合の相談窓口

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、解熱鎮痛薬等が不足している医療機関等がある場合は、厚生労働省が設置している下記相談窓口にご相談ください。

URL：[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_29794.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29794.html)

事 務 連 絡  
令和4年12月21日

政令市・中核市保健所長 様  
各健康福祉事務所長 様  
県立健康科学研究所長 様

兵庫県保健医療部感染症等対策室  
感染症対策課長

季節性インフルエンザとの同時流行を想定した新型コロナウイルス感染症に対応する外来医療体制の「流行期」への切り替えについて（協力依頼）

新型コロナウイルス感染症については、新規患者数が前週比を上回る状況が続き、感染拡大の傾向が続いています。今後もさらに感染拡大が予想されることから年末年始の医療体制の確保に向け、12月28日に外来フェーズを「感染拡大期」から「流行期」に切り替えることを、本日の新型コロナウイルス感染症対策本部会議で決定しました（別添資料をご参照ください）。

つきましては多数の発熱患者に対応し、必要な方に適切な医療を提供するため、引き続き郡市区医師会と連携の上、医療体制の整備を進められるようお願いいたします。

なお、別添のとおり県医師会等関係団体、発熱等診療検査医療機関には通知していることを申し添えます。

【参考】兵庫県ホームページ

- ・「【医療機関向け】新型コロナと季節性インフルエンザの同時流行を想定した外来フェーズ及び外来医療体制の拡充について」

URL：<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/gairaikakujuu.html>

- ・「今冬のインフルエンザ及び新型コロナの同時流行への備え ～県民の皆さまへの協力のお願い～」

URL：<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/doujiryuukou.html>

事 務 連 絡  
令和4年12月21日

各市町感染症対策担当部局長 様

兵庫県保健医療部感染症等対策室  
感染症対策課長

季節性インフルエンザとの同時流行を想定した新型コロナウイルス感染症に対応する外来医療体制の「流行期」への切り替えについて（協力依頼）

新型コロナウイルス感染症については、新規患者数が前週比を上回る状況が続き、感染拡大の傾向が続いています。今後もさらに感染拡大が予想されることから年末年始の医療体制の確保に向け、12月28日に外来フェーズを「感染拡大期」から「流行期」に切り替えることを、本日の新型コロナウイルス感染症対策本部会議で決定しました（別添資料をご参照ください）。

つきましては、別添のとおり、保健所及び発熱等診療・検査医療機関に通知していますので、参考にお知らせします。

また引き続き、休日夜間急患センターにおける新型コロナ患者の受入れ等についてご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

【参考】兵庫県ホームページ

- ・「【医療機関向け】新型コロナと季節性インフルエンザの同時流行を想定した外来フェーズ及び外来医療体制の拡充について」

URL：<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/gairaikakujuu.html>

- ・「今冬のインフルエンザ及び新型コロナの同時流行への備え ～県民の皆さまへの協力のお願い～」

URL：<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/doujiryuukou.html>

# 同時流行を見据えた感染状況に応じた県民への呼びかけ等

第6波、第7波の軽症患者が多いオミクロン株の特性やインフルエンザとの同時流行を見据え、外来患者数を目安に感染状況に応じた外来提供体制の拡充(外来フェーズ)や県民への呼びかけを実施

- 発熱患者が多く発生する流行期に向け、外来提供体制の拡充を準備
- 流行期に、低リスク者が自己検査、自主療養を積極的に活用するよう
  - ①感染警戒期には、抗原検査キットや常備薬の事前準備の呼びかけを実施
  - ②感染拡大期には、低リスク者が自己検査・自宅療養するよう、症状に応じた外来受診・療養を周知

外来フェーズ	感染警戒期	感染拡大期	流行期
平均外来患者数(※)	～約5,000人/日	約5,000人/日～ (第6波ピーク並み)	約9,000人/日～ (第7波ピーク2週前患者数) 最大外来受診想定2.9万人へ順次対応
外来提供体制	地域の実情に応じた輪番制や臨時外来等の <u>設置検討</u>	・発熱外来診療 <u>時間延長検討</u> ・臨時外来等の設置準備	・発熱外来の <u>診療時間延長</u> ・臨時外来の実施
呼びかけの狙い	【事前準備の促進】 ①ワクチン接種の勧奨 ②常備薬・検査キット購入	【重症化リスク別の行動喚起】 高リスク者：速やかな受診 低リスク者：自己検査・自宅療養	【重症化リスク別の行動の徹底】 高リスク者：速やかな受診 低リスク者：自己検査・自宅療養
県民へのメッセージ	・ワクチン接種の推奨 ・ <u>常備薬、抗原検査キットの家庭備蓄の呼びかけ</u>	左に加えて ・重症化 <u>リスクの低い軽症者</u> (13才～64才)へ <u>自己検査、自主療養の呼びかけ</u>	・重症化 <u>リスクの低い軽症者</u> (13才～64才)の <u>自己検査、自主療養の更なる協力依頼</u>

※ 目安となる平均外来患者数(日単位)は、各週の新型コロナウイルス患者とインフルエンザ患者定点報告より推計(毎週公表)

外来フェーズの外来患者数は目安であり、医師会等を通じて診療現場の意見も踏まえて切替



# 新型コロナ・インフル同時流行に備えた外来受診イメージ

- ① 新型コロナ・インフル同時流行時は、高リスク者等に医療機関の受診を重点化しても **外来受診見込**は、**1日あたり2万5千人～2万9千人**と想定
- ② 発熱外来（約1,800箇所）の**診療能力推計**では、**1日あたり2万4千人**（1時間あたり4人診療試算）

## 同時流行時の外来受診イメージ

区分	受診・検査
届出対象となる患者 (65歳以上等、重症化リスクあり) 小学生以下の子ども	高リスク者等は 速やかな受診
それ以外の患者	自己検査を推奨 陰性の場合には医療機関受診 陽性の場合には自主療養 (症状が重いと感ずる場合は受診)

## 流行期最大外来受診想定数 1日あたり

自己検査率	50%想定	95%想定
高齢者等 小児患者	1.4万人/日 (外来受診)	
それ以外	1.5万人/日 (外来受診)	1.1万人/日 (外来受診)
<b>外来受診①</b>	<b>2.9万人/日</b>	<b>2.5万人/日</b>
自己検査の 陽性者②	5千人/日 (自主療養)	9千人/日 (自主療養)
患者見込①+②	3.4万人/日	

## 現行の発熱外来の診療能力試算

診療能力の算定（1時間当たり4名診療、診療所は1診・病院は2診(単位:人)

区分	月	火	水	木	金	土	日・祝
診療所	22,537	20,913	19,222	13,968	22,437	12,178	1,170
病院	9,876	9,484	9,664	9,224	9,800	5,084	2,316
総数	32,413	30,397	28,886	23,192	32,236	17,262	3,486

自己検査50%活用の場合  
**5千人/日の診療能力拡充が必要**

**1週間平均1日あたり  
現行診療能力推計  
平均2.4万人/日**